

医療インフラ

- マレーシアの公的医療サービスには、プライマリケアを担う診療所（clinic）と、高度医療・入院を担う病院（hospital）が存在する。中でも、診療所はTwo-tier systemと呼ばれるシステムが1970年から採用されており、地域に根付いた母子保健サービスや軽微な傷病の治療・応急手当などを提供するCommunity clinicと、より広域の地域住民に広範なサービスを提供するHealth clinicから構成されており、加えて2009年から、医師に代わって5年以上の経験がある看護師や医療助手が常駐する診療所である「1マレーシア診療所」が存在し、医療リソースが不足している地域に戦略的に配置されている。
- 病院は、各州に1つずつ存在するDistrict hospital（100～200床）、State general hospital（500～1,000床）、クアラルンプールにあり最先端高度医療を提供するNational referral center（2,800床）から構成され、それぞれが1次、2次、3次医療機関と位置付けられている。
- 公的機関で一次医療はカバーされているため、民間医療は主に富裕層によって利用され、待ち時間の短縮やより高度な医療サービスを受けられるといったメリットがある。2012年時点で、公的な高度医療施設は146施設、対して民間の高度医療施設の数は220にも上る⁴⁵。

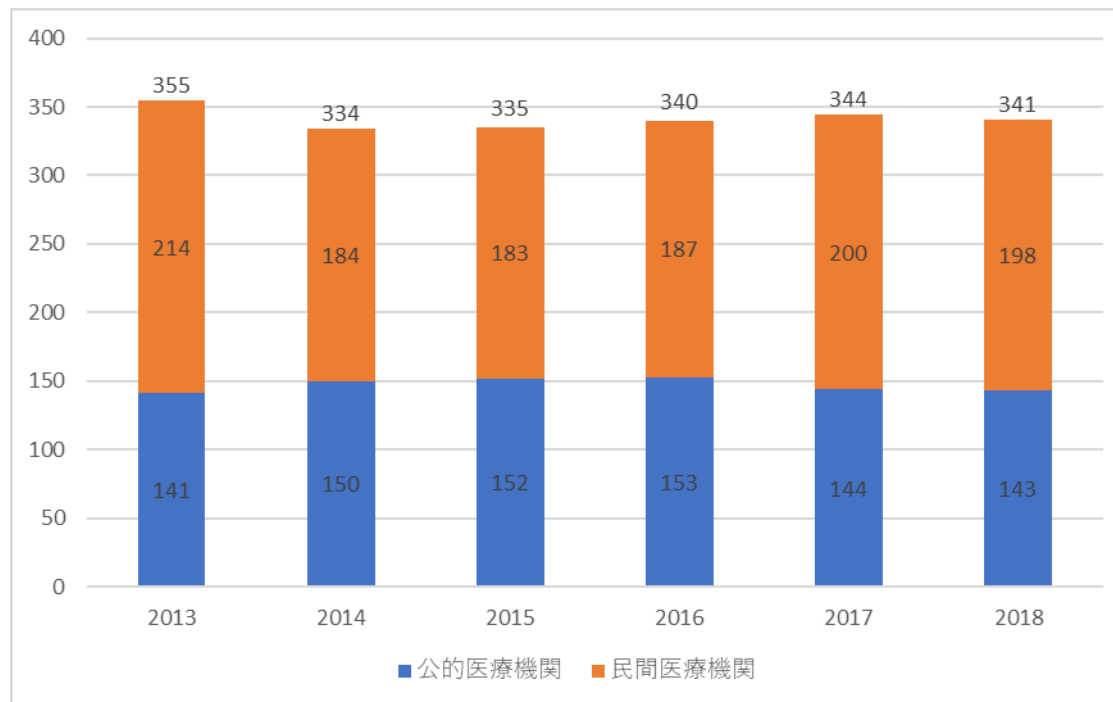
出所：

45：経済産業省, 新興国マクロヘルスデータ, 4. マレーシア. (2014)

医療インフラ

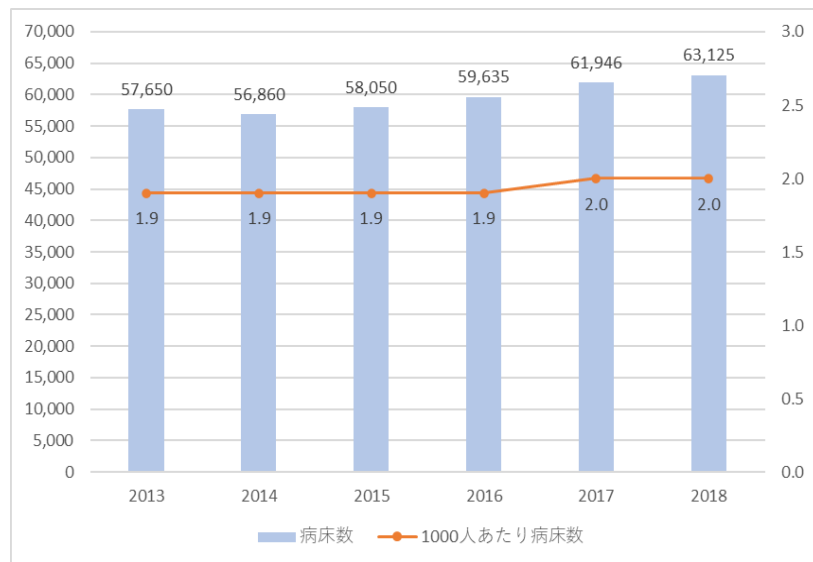
- マレーシアの病院は、図表23が示す通り**2018年時点で約350施設あり、そのうち約6割を民間医療機関が占めている**。病院の全病床数は、2013年から5年間に**年平均成長率約2%で増加**している。2018年の**人口1万人あたりの医療従事者数は、医師20人、看護師33人**であり、2017年時点におけるアジアパシフィックの水準（オーストラリア、バングラデシュ、中国、香港、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、タイ、ベトナムの平均）の医師14人、看護師30人と比較すると、**医療体制は十分に整備できている**と言える⁴⁶。

図表23： マレーシアの医療機関別施設数の推移
出典：BMI Research, Worldwide Medical Devices
Market Factbook (2019)

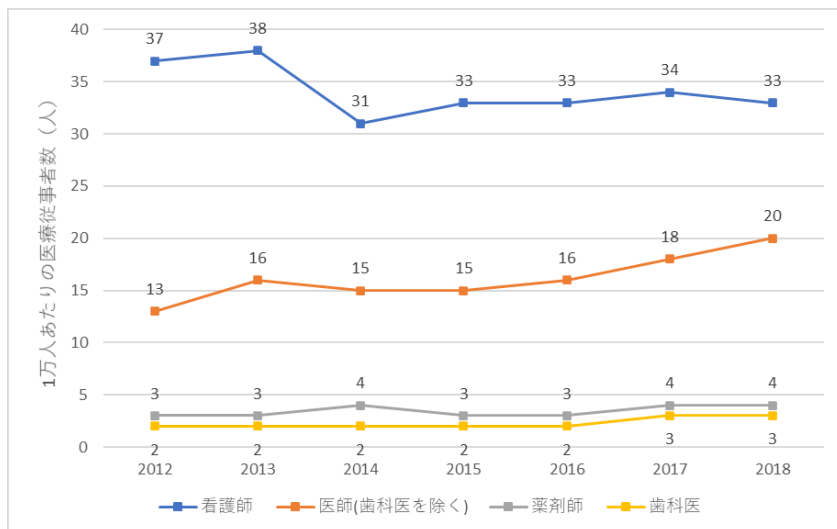


出所：
46：経産省, 医療国際展開
カントリーレポート, マ
レーシア編. (2019年3月)

医療インフラ



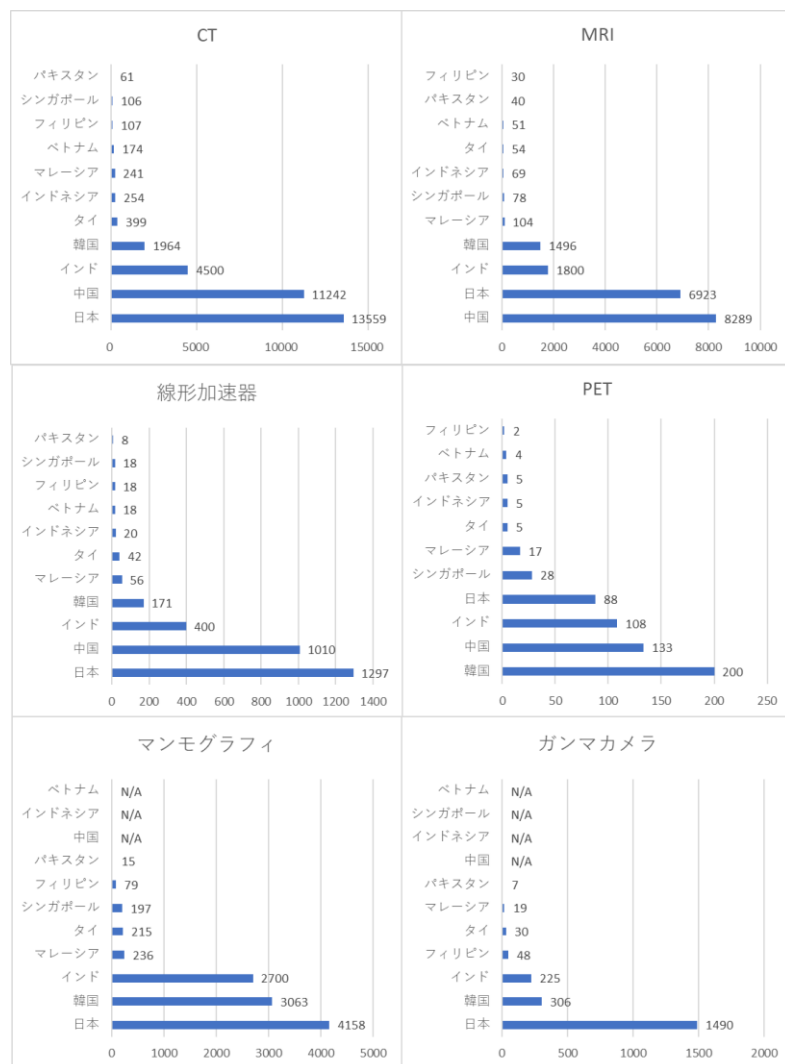
図表24： マレーシアの全病床数の推移
出典：BMI Research, Worldwide Medical Devices Market Factbook (2019)



図表25： マレーシアの人口1万人に対する医療従事者数の推移
出典：BMI Research, Worldwide Medical Devices Market Factbook (2019)

医療インフラ

- 図表26から、**マレーシアの医療機器の普及状況は、人口比なども鑑みるとASEANにおいて優秀な部類**に入ることがわかる。特に、MRIやマンモグラフィ、PET、線形加速器などは、ASEAN周辺諸国よりも整備が進んでいる。一方で、PETやガンマカメラなどの高度先進医療機器はまだ十分に導入がされていないことがわかる。



図表26： マレーシアの医療機器と近隣諸国との比較
出典：Global Health Intelligence, Asia Hospital Data Portrait 2019